

冬の虹

新野祐子

柿くらい食べさせて 仔熊撃たれる

解体師のおみなの髪に蔦かずら

小さな餅工房にて三句

霧襖きりぶすまのけぞるほどの注文受く

70は働き盛りすさまじや

ネズミ捕るイタチに歓声和むかな

干柿上手につくる人にジェラスです

白鳥飛来新しきペン友ひらり

雪ゆきもよひ催論者の選ぶ一字は「謀」

狐のだます私でいたい目を濡らし

冬虹くぐる性善説を生きてきて